

明るさとやさしさに満ちた豊渓中

# 豊 渓 中 だ よ り

練馬区立豊渓中学校  
校長 山根 浩孝  
令和7年12月1日  
第8号

## 誰かのためにできること

校 長 山根 浩孝

12月に入り、朝夕の冷え込みを感じる季節となりました。木々が色づき、校庭にも落ち葉が舞うこの時期は、一年のまとめとして自分の行動を見直したり、新しいことを始めたりするよい機会でもあります。豊渓中学校の皆さんはどういう一年だったでしょうか。



今、世界ではさまざまな問題が起こっています。戦争や災害、貧困、環境問題・・・私たちが暮らすこの地域でも、高齢者の孤立や子どもたちの居場所づくりなど、解決すべき課題は少なくありません。そんな中で大切なのが「ボランティア」という活動です。ボランティアとは、特別な人が行う特別なことではなく、「誰かのために自分にできることを考え、行動すること」だと思います。

ある生徒が、地域の清掃活動に参加したときのことです。最初は「友だちに誘われたから」という軽い気持ちだったそうですが、終わった後、「町がきれいになって気持ちよかったです」「ありがとう」と声をかけられてうれしかった」と話してくれたそうです。自分の行動が誰かの笑顔につながる。その経験が、きっとその生徒の心に温かく残ったのでしょうか。



「誰かのために行動する」ということは、同時に「相手の立場に立って考える」ということでもあります。困っている人にただ「助けてあげよう」と思うだけではなく、「その人はどんな気持ちでいるのだろう」



「どんな言葉をかけたら力になれるだろう」と想像することが大切です。思いやりとは、相手の立場に心を寄せることから始まります。

たとえば、友だちが落ち込んでいるときに、無理に励ますよりも、そっとそばにいて話を聞くことのほうが、相手の心を支えることもあります。ボランティアや支え合いの原点は、「相手を思う気持ち」です。言葉や形にしなくとも、誰かのために時間を使う、気持ちを向ける、それこそが本当の優しさだと思います。

私たちは、一人一人が支え合って生きています。学校でも、家族、友人、地域の方々、多くの人の支えによって日々の生活が成り立っています。給食を作ってくれる方、登下校を見守ってくれる地域の方々、学校を清掃してくださる職員の方・・・。こうした「誰かのために働く人たち」のおかげで、私たちは安心して過ごすことができています。自分が誰かに支えられていることに気づくと、自然と「今度は自分が誰かのために何かをしたい」という気持ちが生まれてくるものです。



これから年末にかけて、地域でもさまざまなボランティア活動が行われます。福祉施設への訪問、清掃活動、地域パトロールなど、皆さんが参加できる場面があるかもしれません。そのときには、「誰かのために」「少しでも役に立てたら」という気持ちをもって、ぜひ行動してみてください。きっと新しい発見や、人とのつながりの温かさを感じられるこことでしょう。

人の幸せを願う心は、自分をも幸せにします。誰かを笑顔にすることで、自分の心にも光がともります。大きなことをする必要はありません。困っている友だちに声をかける、落ちているゴミを拾う、感謝の言葉を伝える、その一つひとつが、立派な行動です。この機会に「誰かのためにできること」を一つ見つけて、実際に行動してみましょう。こうした一人一人の思いやりが集まることで、学校も地域も、そして社会全体も、もっと温かく、優しい場所になるはずです。

## 1学年 ダンス授業、卒業生が特別講師に

先日の体育の授業では、本校の卒業生であり、ダンスインストラクターとして活躍されている近藤愛華さんを講師にお招きしました。

近藤愛華さんの明るく情熱的な指導のもと、最初は少し緊張気味だった生徒たちも、次第にその軽快なリズムに体を揺らし、一つひとつの動きを真剣に、そして楽しそうに学んでいました。卒業生が講師を務めるという経験は、生徒たちにとって大きな刺激となったようです。ダンスの技術だけでなく、身近な先輩が夢を叶え、社会で活躍している姿を見ることは、生徒たちの将来に対する夢や希望を育む貴重な機会となりました。



## 2年生、都内巡り校外学習で学びを深める

この校外学習は、来年度の修学旅行に向けた班行動の練習として、当日は、生徒たちが事前に立てた計画に基づき、班ごとに公共交通機関を利用して都内の名所を巡りました。慣れない場所で戸惑う場面もありましたが、班員同士で声をかけ合い、協力しながら課題を乗り越えていました。生徒たちの表情は真剣そのものであり、計画通りに行動する難しさや、協力して成し遂げる喜びを実感したようでした。



## 3年生 能楽体験で感じる日本的心

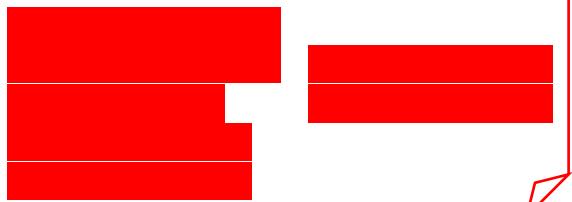
先日、3年生は能楽の体験学習を行いました。専門の先生をお招きし、能の歴史や演目についてのお話を聞いた後、実際に謡（うたい）や能面、小鼓に触れる時間となりました。

初めて触れる能楽の謡に戸惑いながらも、次第に声が一つになり、体育館に響き渡る声に一体感が生まれていきました。また、小鼓の音色や、能独特の「すり足」を体験することで、能楽が持つ精神性を肌で感じることができたようです。



### <表彰>

- 税の標語「練馬東優申会長賞」
- 練馬区読書感想文コンクール「入選」
- 少年非行防止啓発ポスター
- 第15回こどもエコ・コンクール「入賞」
- 第19回自分でつくる朝ごはんコンクール「銅賞」



### 【12月の主な予定】

- 3日（水）避難訓練 校内研修  
C S 協議会
- 4日（木）⑥カット 三者面談
- 5日（金）安全指導 ⑥カット 三者面談
- 8日（月）朝礼 ⑥カット 三者面談
- 9日（火）⑤カット 三者面談
- 10日（水）三者面談
- 11日（木）⑥カット 専門委員会
- 12日（金）⑥カット(3) 中央委員会
- 14日（日）E S A T – J (3)予備日

15日（月）生徒朝礼 私立入試相談日

16日（火）花壇づくり

17日（水）職員会議

18日（木）⑤情報モラル講習会  
⑥第2部（意見交換会）

19日（金）カフェスマイル

25日（木）③④⑤⑥カット

終業式 美化活動

服務研修 部活動再登校

2学期・終

26日（金）冬季休業日始